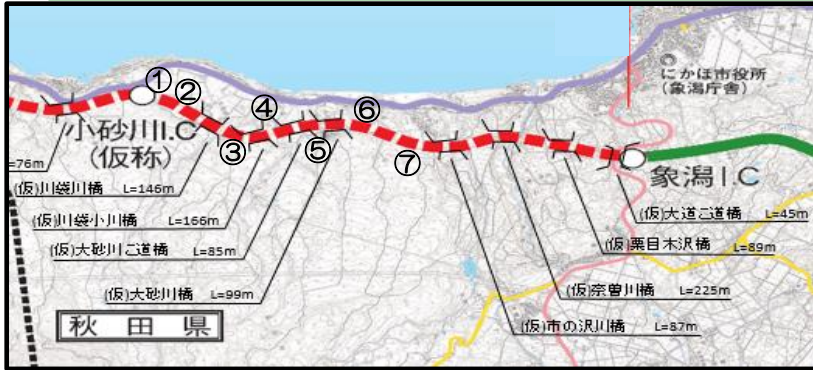


# 遊佐象潟通信

発行：本荘地区監督官室  
 問合せ：TEL 0184-23-4081  
 令和6年1月24日  
 【第24号】



## 【工事名・施工会社】

- ①上ノ山地区道路改良工事(秋田振興建設株)
  - ②堂ノ前地区道路改良工事(菊地建設)
  - ③大砂川地区道路改良工事(三共株)
  - 川袋地区道路改良工事(菊地建設株)
  - 堂ノ前地区道路改良工事(菊地建設)
  - ④川袋地区道路改良工事(菊地建設株)
  - ⑤大砂川地区道路改良工事(三共株)
  - ⑥高田地区道路改良工事(長田建設株)
  - ⑦大坂地区道路改良工事(瀬沢木組)
- ※上記の工事は土工の他、排水路設置・函渠工・地盤改良等、多岐に渡って実施してます

～～着々と工事が進んでいます～～

国土交通省秋田河川国道事務所は、現在、日本海沿岸東北自動車道 遊佐象潟道路 山形県境～象潟IC間の事業を推進しており、小砂川IC(仮)～象潟IC間の令和7年度内※1の開通を目標に鋭意努力しているところです。

工事内容は、大きく分けて“土工(掘削・盛土)・橋梁・函渠”の3工種であり、着々と工事が進んでおります。昨年の4月から比べても目に見えて出来上がりの形が判ってきてます。(以下の写真を参照願います)

工事箇所が県道・市道沿いであること、水田が広がっていることから、工事中は色々ご不便をおかけしますが、皆様のご理解・ご協力の程、宜しくお願いします。 ※1：用地買収・埋蔵文化財調査・工事が順調に進んだ場合



③堂ノ前地区道路改良工事 掘削 施工前  
 (小砂川IC(仮)を背に象潟IC方向を望む)



⑤大砂川地区道路改良工事 盛土 施工前  
 (象潟ICを背に小砂川IC(仮)方向を望む)



⑥高田地区道路改良工事 盛土 施工前  
 (象潟ICを背に小砂川IC(仮)方向を望む)



⑦大坂地区道路改良工事 盛土 施工前  
 (小砂川IC(仮)を背に象潟IC方向を望む)



③堂ノ前地区道路改良工事 掘削 施工後  
 (小砂川IC(仮)を背に象潟IC方向を望む)



⑤大砂川地区道路改良工事 盛土 施工後  
 (象潟ICを背に小砂川IC(仮)方向を望む)



⑥高田地区道路改良工事 盛土 施工後  
 (象潟ICを背に小砂川IC(仮)方向を望む)



⑦大坂地区道路改良工事 盛土 施工後  
 (小砂川IC(仮)を背に象潟IC方向を望む)

## 工事担当者へインタビュー ～“熱盛”の工事現場 vol.3～

【インタビューを受けていただいた方】

菊地建設株 畠山康介さん(川袋地区道路改良工事の現場代理人、30歳代前半)

※現場代理人とは“現場に常駐し、その運営・取締りの他、一部分を除き工事に関する全権限を持つ立場の人(簡単にいうと“社長”です)

①現場に携わった経験年数は？現場代理人or監理技術者としての経験年数は？

現場に携わり7年で現場代理人として4年です。

②初めて担当した現場は？入社何年目？難儀したところは？

国土交通省秋田河川国道事務所発注の工事で、日本海沿岸東北自動車道本荘IC～大内JCT間における土谷地区の道路改良工事です。入社4年目で現場代理人として従事しました。隣で車両を通行させながらの工事であり、安全管理に常に気を配る必要があり苦労しました。

③今回工事の難しい所は？

現在施工中のボックスカルバートが内空幅10.5m、内空高6.5mと大きい構造物であり、それに伴い各施工メニュー・作業ヤードの規模も大きいので、施工計画立案が困難でしたが、着手前にBIM/CIM※2モデルを活用し事前に支障箇所がないか等を検討できたため手戻りなく作業を進めています。

※2：BIM/COMとは、調査・計画・設計段階から3次元モデルを導入し、その後の施工、維持管理の各段階においても、情報を充実させながらモデル活用することです。(詳しくは“BIM/CIMポータルサイト”<https://www.nilim.go.jp/lab/qbg/bimcim/bimcimindex.html> を参照)

④1日の仕事が終わった時に思うことは？

無事故で作業を終えられたことへ感謝し、明日も元気に頑張ろう！！

インタビューを受けていただきありがとうございました。次は貴方の現場で“熱盛iiiiii！！！” to be continued・・・

